

Bracket-free Orthodontics

ブラケットを用いない矯正歯科治療



講師：保田 好隆 先生

学位：昭和60年3月 大阪医科大学卒業
 職歴：昭和60年4月 大阪大学歯学部研究生
 昭和63年4月 大阪大学歯学部附属病院医員（矯正科）
 平成9年7月 大阪大学歯学部助手（歯科矯正学講座）
 平成10年6月 大阪大学歯学部附属病院講師
 平成12年2月 大阪大学歯学部助教授（歯科矯正学講座）
 平成15年9月 同上退職
 平成15年10月 保田矯正歯科勤務
 平成17年 国立大学法人大阪大学招聘教員
 平成19年 北海道医療大学歯学部非常勤講師
 平成24年 保田矯正塾主宰

ブラケットは、矯正歯科治療において効果的な装置です。しかしながら、患者にとっては不快感があり、審美的にも十分でなく、さらに口腔内の衛生状態を保ちにくくしてしまいます。ブラケットを使用しない治療法として、最近では、アライナーが脚光を浴びていますが、アライナーは可撤式装置であるがために、治療結果は患者の意思と協力で完全に依存的で、複雑な歯牙の移動には長期間に渡り患者からの完全な協力を必要とするため、包括的な矯正治療には不適切です。ブラケットを使用しない包括的な矯正歯科治療を実現するためには、歯科医師と患者双方に有益であり、あらゆる歯牙移動において適応できないといけません。



保田矯正塾 主催

後援
 フォレストデントジャパン株式会社
 株式会社 Vigorous

成人の上顎拡大セミナー

保田矯正塾の会員の方には、上顎にスケルトンタイプの拡大装置を装着して、口呼吸の改善がなされた多くの小児の矯正患者を経験されていると思います。私は口呼吸の改善が、矯正歯科治療の成否を分ける大きなポイントと私は考えています。近年、歯科矯正用アンカースクリューを用いることで、成人でも日常生活を送りながら、小児と同様に容易に上顎骨を拡大することができるようになりました。その処置を矯正歯科治療に加えることで、患者の呼吸の質が向上し、睡眠時無呼吸症の改善等にも応用できる可能性が示唆されています。

今回のセミナーでは、拡大装置の装着方法の実習、上顎拡大の意義、静脈鎮静法を加えた最小限の外科処置の介入の方法、症例提示、成人拡大矯正治療におけるアシスタントの役割について講演を行いたいと考えています。この実習セミナーを受講し、JIDIA学術講演会（日程未定）に参加していただければ、2022年に開催予定（日程未定）のIDIAの学会でのCadaver実習に参加可能となります。ご参加の程よろしくお願いたします。なお配信による受講はできません。

講師： 加藤 嘉哉（松戸市 加藤歯科クリニック 院長）
 山本 彰美（大阪市 大阪中之島デンタルクリニック 院長）
 北嶋 愛、田中 菜美（松戸市 加藤歯科クリニック 歯科衛生士）
 保田 好隆（保田矯正塾 主宰）

わかりやすい矯正歯科治療

全顎矯正歯科治療コース

2021 / 2022

～ストレートワイヤーエッジワイズシステムを学ぶ～

(全8回)



講師: 保田 好隆
やすだ よしたか

学歴: 昭和60年 大阪歯科大学 卒業
 昭和60年 大阪大学歯学部研究生
 昭和63年 大阪大学歯学部附属病院医員(矯正科)
 平成9年 大阪大学助手歯学部(歯科矯正学講座)
 平成10年 大阪大学講師歯学部附属病院
 平成12年 大阪大学助教授歯学部(歯科矯正学講座)
 平成15年 同上退職
 平成15年 保田矯正歯科勤務
 平成17年 国立大学法人大阪大学招聘教員
 平成19年 北海道医療大学歯学部非常勤講師
 平成24年 保田矯正塾主宰

著書: 新版プロフィットの現代歯科矯正学(翻訳)
 フリアジャストエッジワイズ法—装置とメカニクス—(翻訳)
 矯正歯科治療とオーラルハイジーンコントロール
 どうするの? 矯正治療(翻訳)
 IDBSの理論と臨床
 歯周—矯正治療 STOP&GO
 矯正臨床
 矯正歯科治療トラブルシューティング
 アンカースクリューを使ったLOT

本コースは、一般臨床の先生方を対象とした“拔牙を伴う全顎矯正歯科治療(GOT)”の実習コースです。
 わかりやすい講義と臨床に即応した実習内容を主体としておりますので、基礎から矯正歯科治療を学びたい、あるいは最新の治療法を習得したい先生に最適です。
 このコース終了後は、補綴前矯正や歯周治療の一環としての部分矯正歯科治療(LOT)の実習セミナーも予定しており、すべてのセミナーを受講することで、幅広い患者層に対する矯正歯科治療ができるようにと考えております。矯正歯科治療を貴院の臨床に導入する第一歩として、どうぞご参加ください。

講師: 保田 好隆



スライディングメカニクスによる空隙閉鎖

第24回

はじめよう! 成長発育を活かした混合歯列期の矯正治療

～かかりつけ医として～

かかりつけ医である一般歯科の先生は、保護者の方から混合歯列期の子供に対して

「矯正治療が必要なのか？」

「矯正治療を始める時期は？」

「使用する装置や治療期間は？」

「拔牙が必要なのかどうか？」



スケルトンタイプの拡大装置



講師: 保田 好隆

といった質問を受ける機会が多いと思います。

個々の子供の矯正的な問題点をPick upし、解決策を考え実践するには、正しい知識と手技を身につける必要があります。

また、この時期の咬合異常の主な原因として“口呼吸”があげられます。混合歯列期に口呼吸を改善することで原因を除去し、顎顔面の骨格をすこやかに成長させることができます。つまりこの時期の治療が、患者にとって非常に重要なことなのです。

今回2日間にわたり実習を含めた下記内容のセミナーを企画いたしました。先生だけでなくスタッフの方にも参加していただき、混合歯列期における矯正治療の進め方をマスターしていただければ幸いです。

保田矯正塾 主宰 保田好隆

学歴: 昭和60年 3月 大阪歯科大学 卒業
 職歴: 昭和60年 4月 大阪大学歯学部研究生
 昭和63年 4月 大阪大学歯学部附属病院医員(矯正科)
 平成9年 7月 大阪大学歯学部助手(歯科矯正学講座)
 平成10年 6月 大阪大学歯学部附属病院講師
 平成12年 2月 大阪大学歯学部助教授(歯科矯正学講座)
 平成15年 9月 同上退職
 平成15年 10月 保田矯正歯科勤務
 平成17年 国立大学法人大阪大学招聘教員
 平成19年 北海道医療大学歯学部非常勤講師
 平成24年 保田矯正塾主宰